

秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第 2 1 回）

日時：令和 3 年 5 月 9 日（日）

午後 2 時 0 0 分～

場所：第二庁舎 4 階 災害対策本部室

次 第

1 開 会

2 議 題

（１）新型コロナウイルス感染者の県内発生状況等について（資料 1）

（２）感染拡大に伴う入院病床の確保について（資料 2）

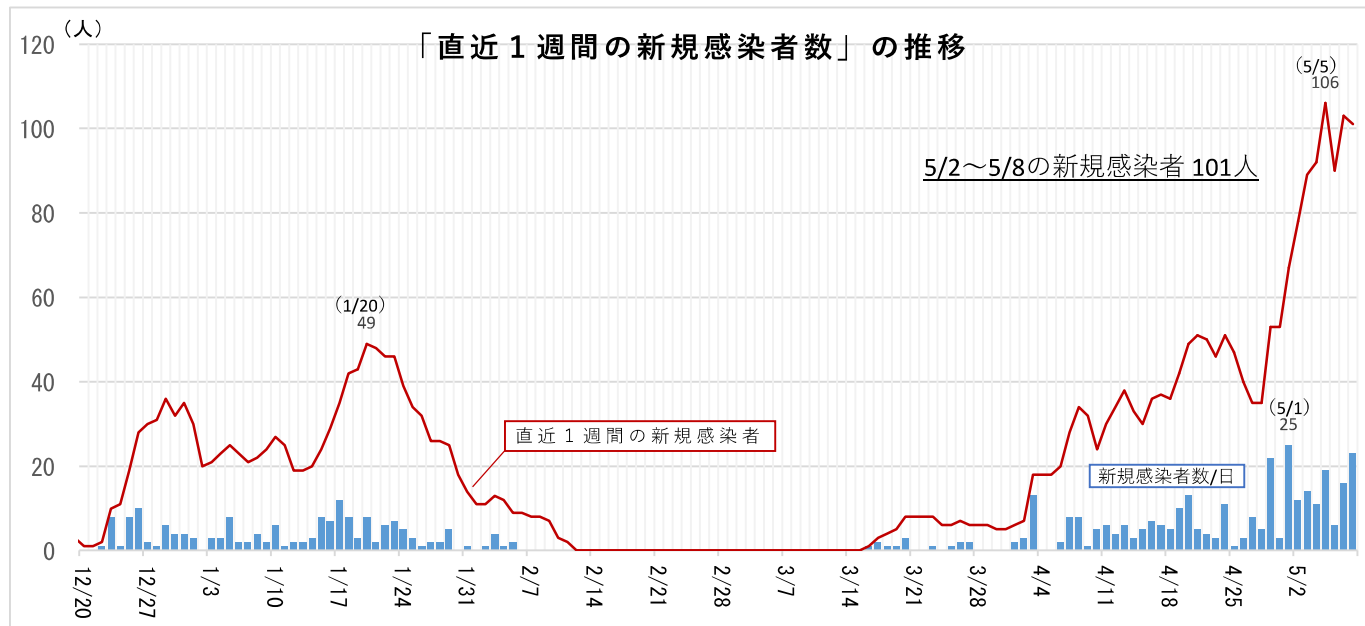
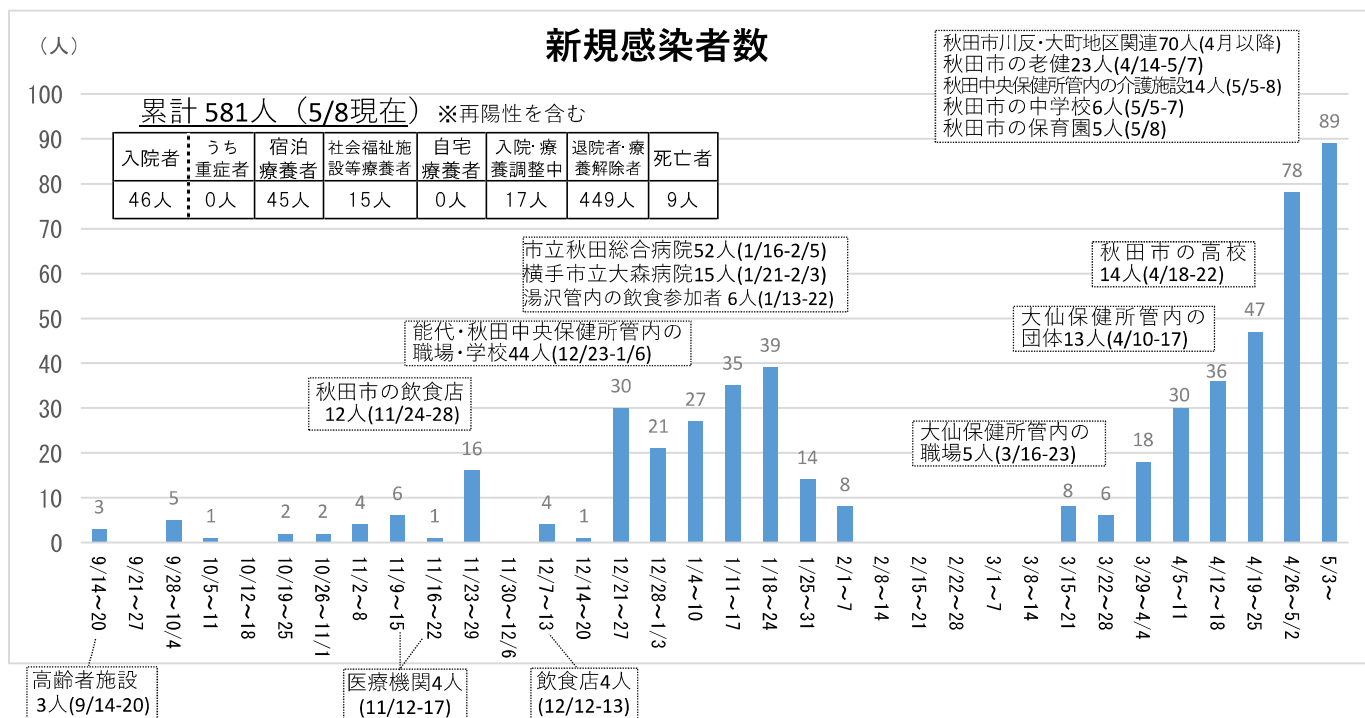
（３）感染警戒レベル（秋田市）の引き上げについて（資料 3）

（４）その他

3 知事指示

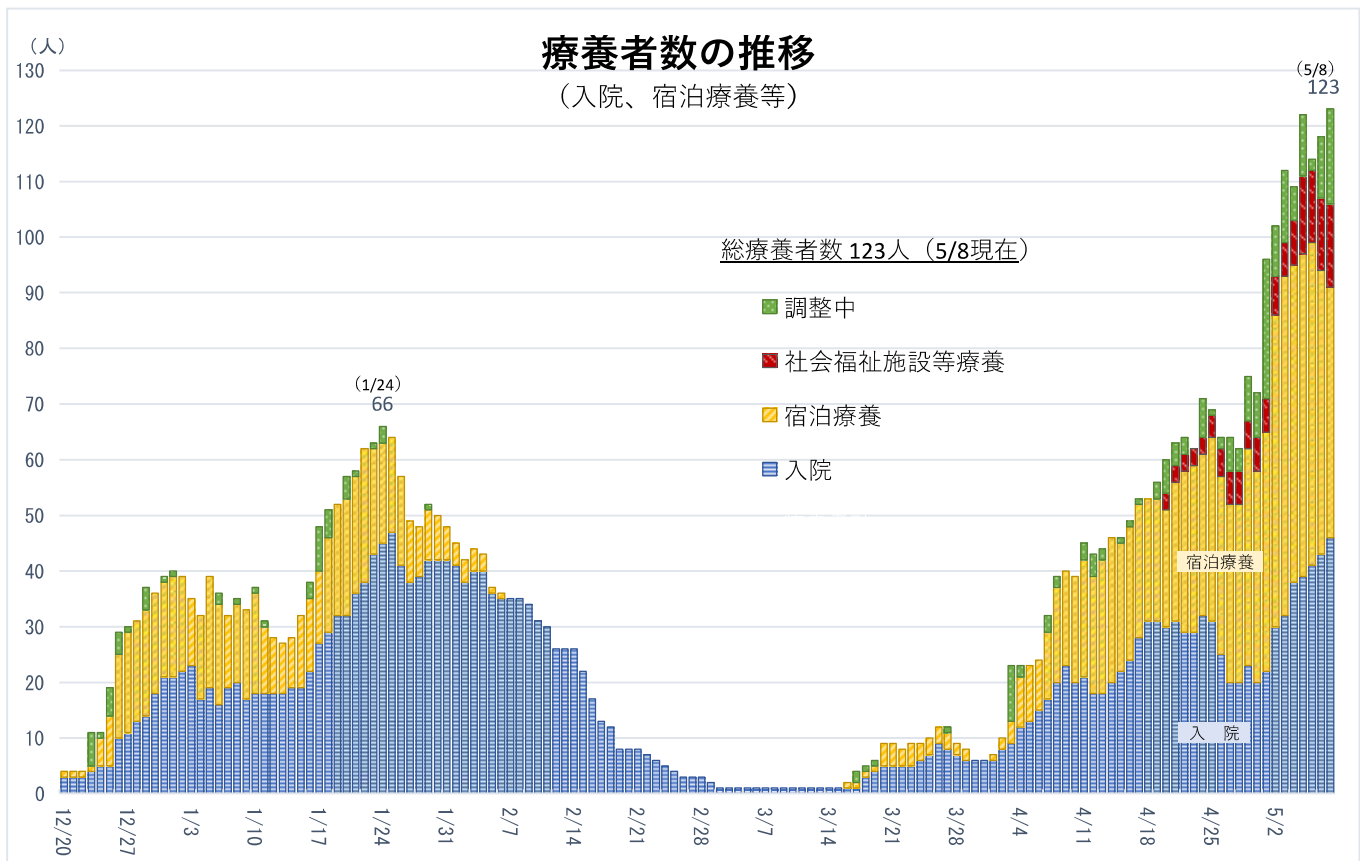
4 閉 会

新型コロナウイルス感染者の県内発生状況等について

令和3年5月9日
健康福祉部

変異株の状況 (5/7現在)

	①変異株スクリーニング検査 (県健康環境センター、秋田市保健所)	②ゲノム解析 (国立感染症研究所) (5/8現在)
対 象	P C R 等検査で陽性となった検体	①で陽性となった検体のほか、県健康環境センター及び秋田市保健所で確認された陽性例のうちウイルス量の多い検体
結 果	2 3 8 件中、 <u>6 3 件</u> の陽性を確認	①で陽性となった検体の中から、 <u>9 件</u> の変異株を確認 (いずれも英国で報告された変異株)



入院病床及び宿泊療養施設の使用状況 (5/8現在)

(人、床・室)

入院病床					宿泊療養施設		
入院者数 (うち重症) ① (②)	現在の 確保病床数 (うち重症者用) ③ (④)	病床使用率 (重症者用 ^へ -ス) ①/③ (②/④)	最大確保 想定病床数 (うち重症者用) ⑤ (⑥)	病床使用率 (重症者用 ^へ -ス) ①/⑤ (②/⑥)	療養者数 ⑦	現在の 確保居室数 (収容人員数) ⑧ (⑨)	居室使用率 (収容人員 ^へ -ス) ⑦/⑧ (⑦/⑨)
46 (0)	132 (12)	34.8% (0.0%)	229 (24)	20.1% (0.0%)	45	163 (211)	27.6% (21.3%)

注) 上記のほか、15人が社会福祉施設等療養、17人が入院・療養調整中

年代別 累計感染者数 (5/8現在)

(人)

10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
10 (2%)	61 (10%)	105 (18%)	91 (16%)	79 (14%)	60 (10%)	64 (11%)	48 (8%)	63 (11%)	581 (100%)

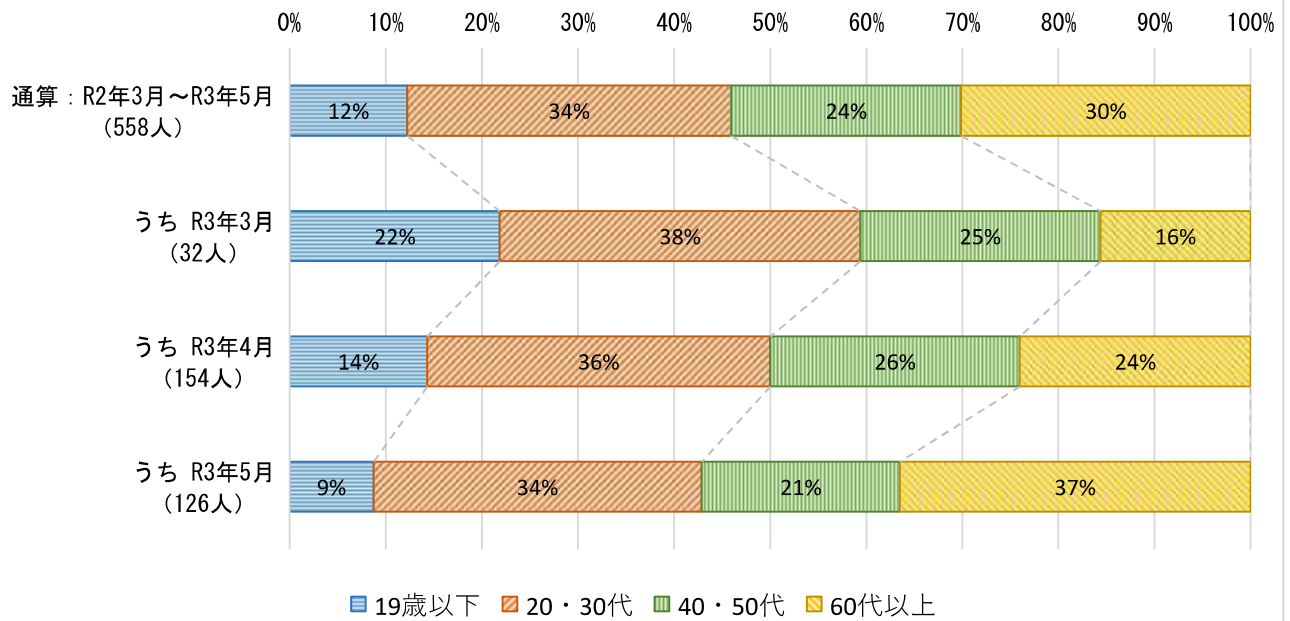
管轄保健所別 累計感染者数 (5/8現在)

(人)

大館	北秋田	能代	秋田中央	秋田市	由利本荘	大仙	横手	湯沢	計
14 (2%)	3 (1%)	48 (8%)	56 (10%)	332 (57%)	17 (3%)	61 (10%)	25 (4%)	25 (4%)	581 (100%)

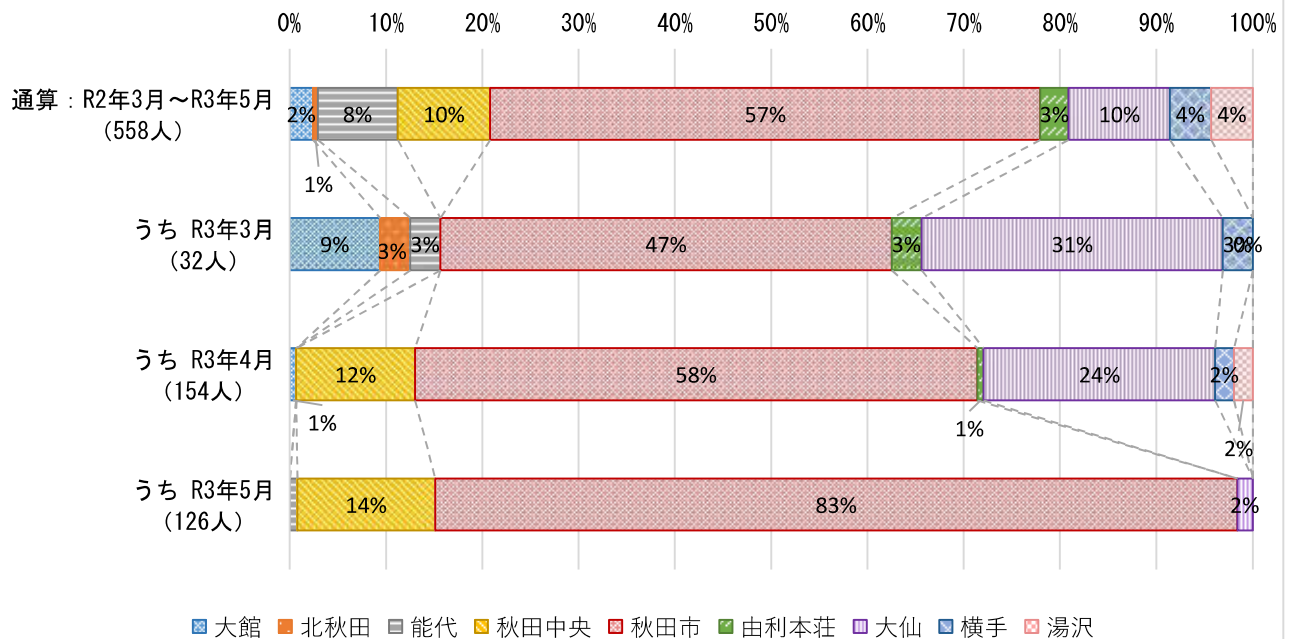
年代区分別感染者数の割合

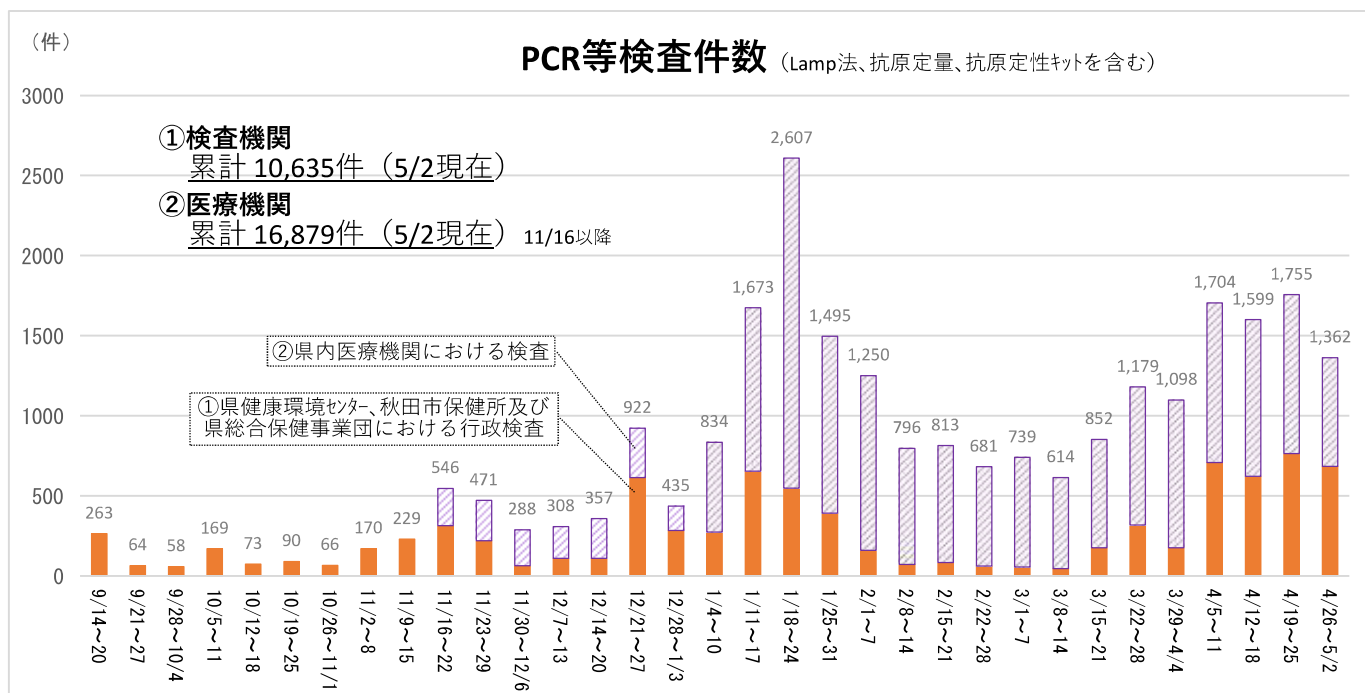
(R3年5月8日現在)



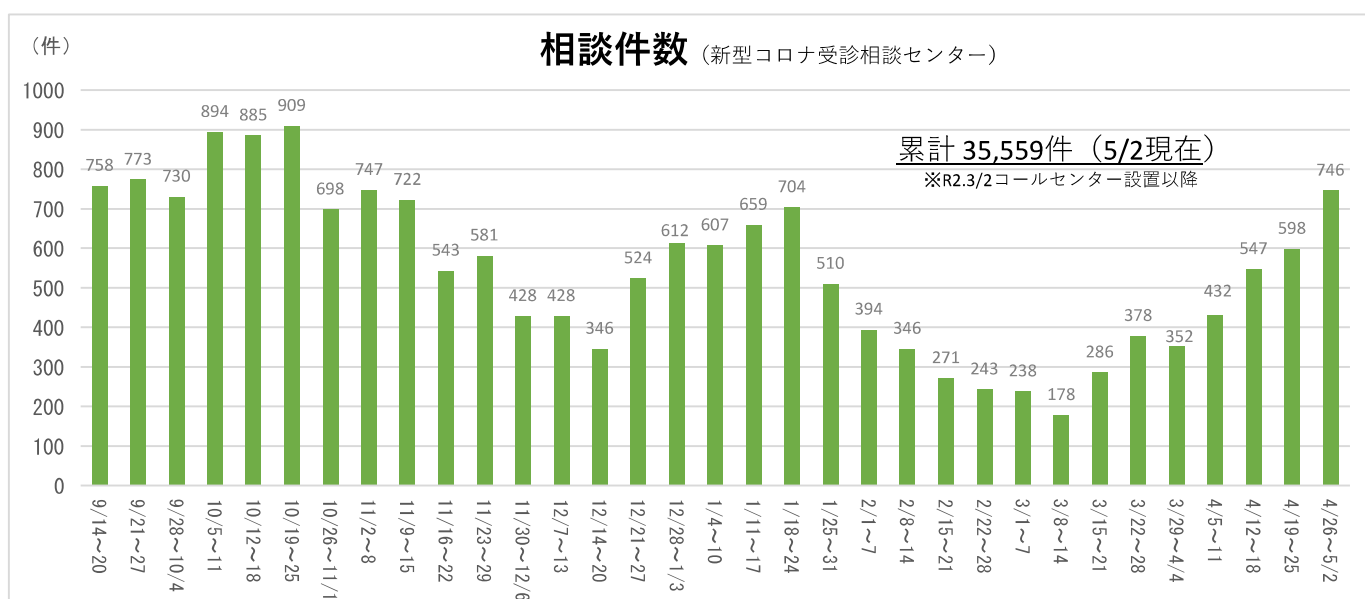
管轄保健所別感染者数の割合

(R3年5月8日現在)





※医療機関における検査件数は、11/16以降の検査から集計を開始。件数は、新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム（G-MIS）から県が集計した件数と、県医師会が集計した件数を合計した数値（G-MIS集計分は5/2まで、県医師会集計分は2/28までの件数）



県内の新型コロナワクチン接種実績 (5/7 10時時点)

(人)

	医療従事者	高齢者	高齢者施設 従事者	基礎疾患 保有者	その他	人数合計
1回目接種	24,196	5,687	609	2	1	30,495
2回目接種	11,588	36	-	-	-	11,624

※ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）からの情報

感染拡大に伴う入院病床の確保について

令和 3 年 5 月 9 日
健 康 福 祉 部

本県では、4月上旬からの新規感染者の増加傾向が5月以降も続き、5月8日現在で直近1週間の新規感染者数が週101人に達している。総療養者の内訳は、宿泊療養施設で受入できる軽症者等が多かったものの、入院患者が徐々に増加し、現在の確保病床数に対する使用率は5月8日現在で34.8%と高い水準にある。

特に、5月の感染者の8割以上を占める秋田市では、感染者の急増に伴い入院医療体制がひっ迫しつつある。このため、県では現在、秋田市内の関係医療機関に対し、フェーズ4相当の病床確保を要請しているところであり、準備が整い次第、即応病床として運用する。

○5月8日現在の感染状況等

- ・ 週当たり新規感染者数 101人
- ・ 総療養者数 123人 ※過去最多
(入院46人、宿泊療養45人、社会福祉施設等療養15人、調整中17人)

○入院病床の使用状況（5月8日現在）

医療機関	入院受入患者数①	現在の確保病床数② (フェーズ3)	病床使用率 ①/②	最大確保想定 病床数③ (フェーズ4)	病床使用率 ①/③
全 県	46人	132床	34.8%	229床	20.1%
うち秋田市内	26人	45床	57.8%	101床	25.7%

※現在確保病床はフェーズ4の前倒し病床を含む。

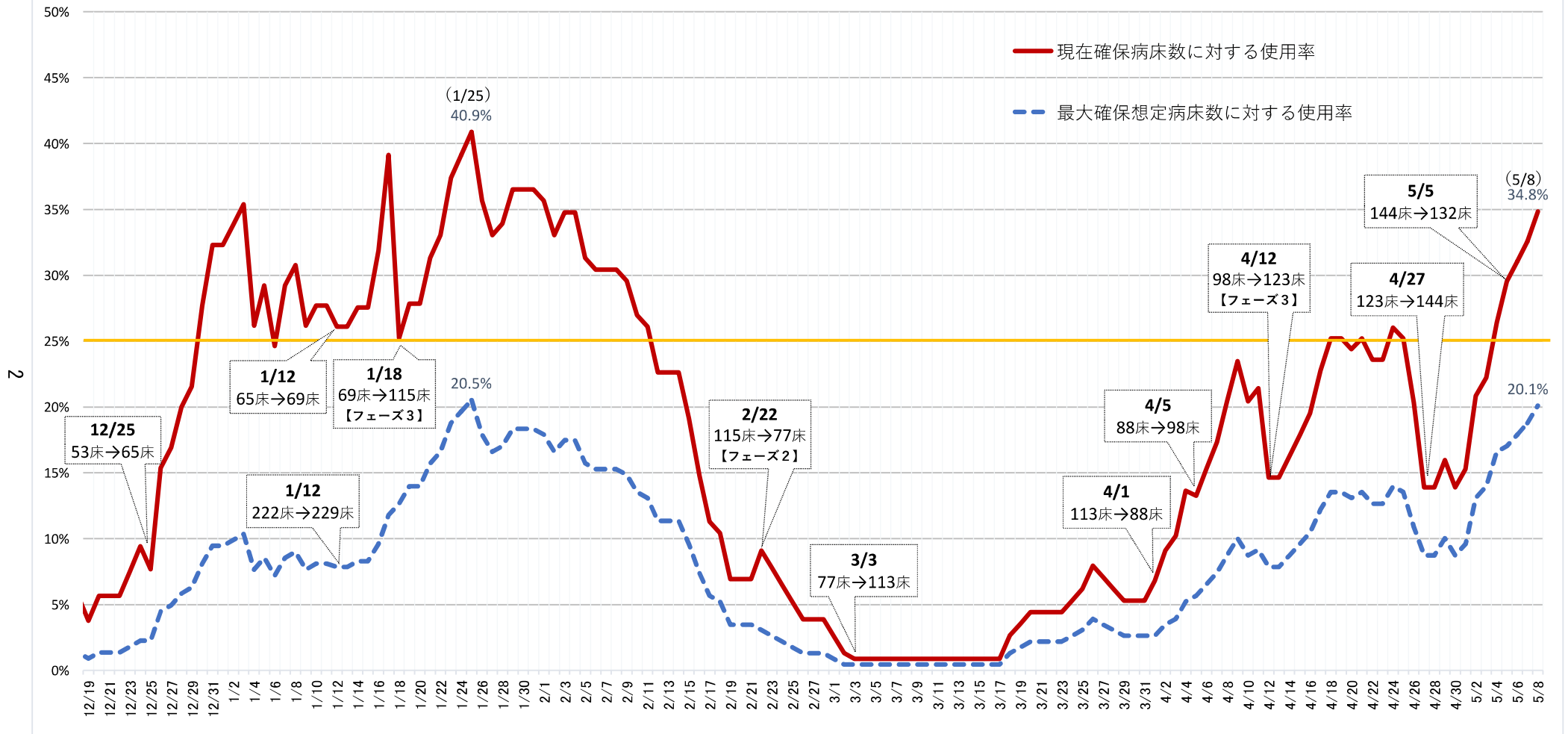
※ 病床確保計画におけるフェーズ区分等

(人、床・室)

フェーズ分類	フェーズ1	フェーズ 2a	フェーズ 2b	フェーズ3	フェーズ4
フェーズ 切り替え基準	県内感染者 無し	県内感染者 1～6人/週	新規感染者数 7～24人/週	新規感染者数 25～49人/週	新規感染者数 50人以上/週
	国内感染者 発生	県外での感染可 能性が高い事例 に限定	県内で市中感染 疑い例が1例で も発生	市中感染事例 が拡大し、リスク が高まっている	感染が拡大し、感 染経路不明者も多 く、クラスター発 生のおそれもある
確病 保床 数等	即応病床(うち重症)	30(1)	53(10)	132(12)	229(24)
	宿泊療養居室	163室211人			

※下線はフェーズ4の前倒し病床を含む病床数

病床使用率の推移



感染警戒レベル（秋田市）の引き上げについて

令和 3 年 5 月 9 日

秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部

1. 現状

本年 4 月以降、県外から帰県した人から家族に感染し、家族である職員等を介して、高齢者福祉施設、学校、保育園等に感染を拡大させている例が多く見られている。

この状況は、特に秋田市において顕著となっており、今後、全県に感染が拡大するおそれがある。

秋田市内の入院医療体制もひっ迫しつつあり、県では現在、秋田市内の関係医療機関に対し、病床確保計画のフェーズ 4 相当の病床確保を要請しているところである。

2. 県の感染警戒レベルの引き上げ

こうしたことを踏まえ、県独自の感染警戒レベルを秋田市の区域に限り、「3」から「4」に引き上げることとし、次の要請を行う。

※ これまで、警戒レベルの設定は、全県域を対象に行っていたが、今回の秋田市内における急激な感染者数増加と病床の使用状況を勘案し、秋田市を対象として各種要請を行うことが感染拡大防止に有効であると判断したものの。

3. 要請の内容(対象:秋田市)

(1) 家庭内での感染防止対策の徹底（再徹底）

県外から帰県した家族について、一定期間の健康観察の徹底、会食等の接触を避けること

(2) 大人数での集まりの自粛（再徹底）

集会、イベント等の開催を慎重に判断すること

(3) 密を避ける対策の徹底（新）

県内であっても、大人数の旅行や混雑する場所への外出を避けること

(4) 校内外活動における感染防止策の徹底（新）

「県立学校における部活動の実施に関する留意事項（改訂版）」に沿った活動に限ること

4. 県の対応

(1) 高齢者施設や保育所等への感染防止対策の徹底・周知、チェックシートの配付

(2) 学校等における感染防止対策の徹底・周知

(3) 川反・大町地区の飲食店を対象とした無料PCR検査の実施（検査キット配付）